

## 北秋田市製造業者ら **合格願い「点のび〜る」**

### 受験生にバター餅贈る



北秋田市のバター餅製造業者らでつくる日本バター餅協会（湊屋啓二会長）は、高校入試で点数が餅のように伸びるよう、市内4中学校・義務教育学校の3年生と9年生計184人に合格の願いを込めてバター餅を贈った。



包装には桜の花びらの模様と、「祈合格 点のび〜る」というメッセージを入れた。合格を勝ち取り、春に「ニコニコ」できるようにとの思いを込め、1人に2個贈った。協会に加盟する市内4業者が製造し、市内の鷹巣神社で合格祈願した。

湊屋会長とバター餅のイメージキャラクター「バタもっち」

が1日に鷹巣中学校を訪問。湊屋会長が生徒代表の岸野公祐さんにバター餅を手渡した。湊屋会長は「食べて体力を付け、良い点数を取れるよう頑張ってください」とエールを送った。

生徒を代表し、茂内拓視さんが「応援してもらえてうれしい。期待に応えられるよう、苦手な分野を中心に問題演習に取り組み、合格をつかみ取りたい」と話した。

受験生は教室に戻り、バター餅を伸ばしながら頬張った。岸野さんは「柔らかくておいしい。最後の追い込みを頑張りたい」と笑顔を見せた。バター餅をPRしつつ、地域の受験生を応援しようと、協会は2013年から市内の中学3年生にバター餅を贈っている。（石塚佳治）

